

学校名	徳間小学校		
ホームページURL	児童・生徒数 670名		
(1) テーマ  「ぼく・わたしの宝物」  テーマの分類( ) 下記の欄外記載事項を参照してください。	(2) 活動の単位に をつけてください  学級・同一学年・ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">3～4年</span> 5～6年・学校・ その他( ) 該当学年 4年 (回答可能な場合)		
(3) 活動のねらい 地域の人と出会い、その人々の思いにふれることを通して、地域に思いを寄せ、また、地域の中での自分自身を振り返る。			
(4) 活動の実際(活動内容、学習方法、学習形態、学習環境等) ・地域(家庭や学校も含める)の中で、自分にとって大切な場所、もの、こと(宝物)に対する自分なりの疑問や問題について、その解決のため、主体的に資料や人を求める。 ・地域の人(先生や親も含めて)との出会いを大切に。 ・個の活動からグループिंग ・最後は、地域の中で(宝物のために)何ができるかまでを考えていった。 時数(22)			
(5) 指導体制(校内体制、地域人材の活用、安全面での配慮等) ・3,4年で中学年部会を組織し、研究を進めてきた。 ・基本的には、子どもたち自ら人を求め、出会っていく立場で進めた。 ・個々の課題に沿って、校外へ出る場面も多くなったが、安全面での約束はもちろん、可能なところで学級の保護者にボランティアとして、引率等をお願いした。			
(6) 指導上の留意点(時間数の取り扱い、各教科との連携、家庭・地域との連携等) ・地域との連携として、表向きには、子どもたち自らが見つけ出会った形を取りながら、その裏で事前の連絡や打ち合わせを大切にしてきた。			
(7) 評価(基本的な考え方、評価の内容及び方法、評価の実際) ・学習カードを積み重ねていく。 ・書くことにより、自分の姿の変容や高まりを振り返っていく。 ・自己評価(全員共通の項目、自分自身が考えた項目を で評価)			
(8) 成果と課題 ・人と出会ったこと、特に自分が主体的に求め、活動を起こしてきたことは、子どもたちに、その子なりの大きな自信を与えたことにつながったと実感している。 ・ここで行った活動が、教科学習に生きてきている。(自ら求める姿が出てきている。) ・時数の問題 ・指導体制の問題(本年度は学級単独で進めてきたが。)			

テーマの分類 横断的・総合的な課題( -ア 国際理解 -イ 情報 -ウ 環境  
 -エ 福祉・健康 -オ その他) 児童生徒の興味・関心に基づく課題 地域や学校  
 の特色に応じた課題